

### 本プログラムのねらい

初中級レベルから中上級レベル (目安 TOEIC650点以上) への「橋渡し」をするためのプログラム

日本語とは違う特徴(OS)を持った英語を、瞬時に、正確に聞き取り、話せるようになるための「OS変換の学習」にフォーカスした自己学習教材 提供プログラムです。書籍「究極の英語学習法 はじめての K/H システム」の対象レベルの方(目安 TOEIC450～650点)のステップアップをねらっています。「はじめての K/H システム」で学んだ考え方や学習ステップで継続学習するための教材やトレーニング用ドリルなどをパッケージにして提供します(全 教材4冊 付属 CD6枚)。どの教材も K/H システムが独自開発した教材で、初中級レベルの学習者が、効率的・効果的に実戦力の土台づくりを進めることができるように工夫され、パッケージングされています。

### 対象レベル

目安: TOEIC450～650点レベルの方

書籍「はじめての K/H システム」を一通り読み、学習ステップを体験された方\*で、以下のようなニーズがある方

\* <Bridge プログラム>は、「はじめての K/H システム」を読んで K/H システム英語学習法の考え方を理解し、実践練習セクションで学習ステップを一通り体験されていることを前提としています

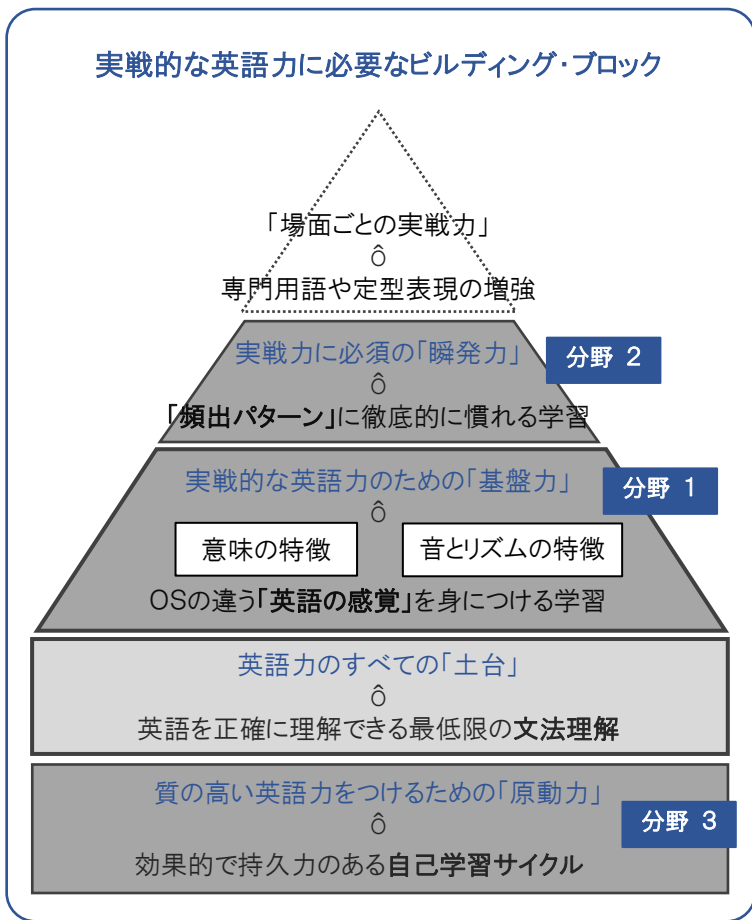
- ・ 「はじめての K/H システム」で学んだ K/H システム英語学習法で学習を継続し、英語の基盤力を伸ばしたい方
- ・ 「はじめての K/H システム」で学んだ学習法で学習を継続するための、効果的な教材を探している方
- ・ 仕事で英語を使う必要に迫られているものの、どうやって学習すればよいのかが分からない方
- ・ 付け焼刃的でない英語力をつけるための学習サイクルと学習ペースを確立したい方
- ・ 次のレベルへステップアップをして、K/H システムの公開講座を受講できるレベルに到達したい方
- ・ 次のレベルへステップアップをして、中上級者向け(対象レベル TOEIC650点以上)の既刊本「究極の英語学習法 基本編」で自己学習できるレベルに到達したい方

### プログラム費

22,000円 (税込・送料込)

**Bridge** プログラム でフォーカスする分野

Bridge プログラムは、実戦力を身につける上で不可欠な、以下の3つの分野に特にフォーカスをしています。



**分野 1** 英語の感覚(英語のOS) を身につける

実戦的な英語力を身につけていくためには、OSの違う「英語の感覚」を作りこむことが不可欠。Bridge プログラムでは、「はじめての K/H システム」で学んだ学習サイクルを実践して2つの<基幹教材>をやり込むことで、「英語の感覚」を作りこむことを第一にねらっています。また、「意味の特徴」をしっかりと作りこむために、<個別強化教材>として「構文ドリル」も用意しました。

**分野 2** 頻出する英語の構文パターン に慣れる

実戦力をつけるための次のフォーカスは、頻出する英語の表現・構文のパターンに慣れ、これらがサッと聞き取れ、使えるようにしていくこと。Bridge プログラムでは、初中級レベルから身につけておきたい「表現パターン・構文パターン」に慣れ、増やしていくための<個別強化教材>を用意しました。

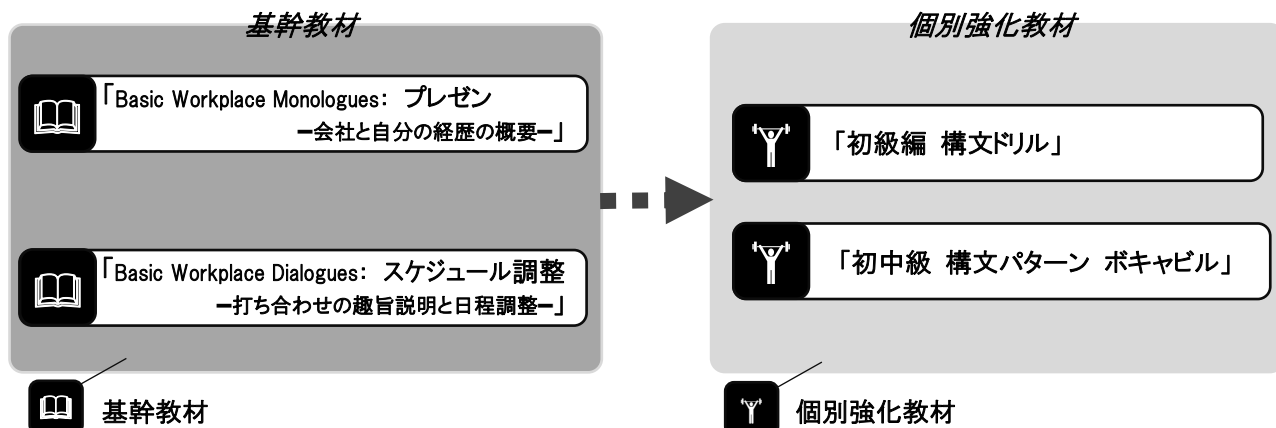
**分野 3** 効果的な継続学習サイクル を確立する

自分に合った「質の高い学習を継続していける学習サイクル」を確立することが英語力を伸ばすための大きなカギ。Bridge プログラムの教材や付属CDは、初中級レベルの学習者が強化したい感覚にしっかりとフォーカスをして、着実に学習を進めることができるように工夫されています。また「学習ガイドライン」によって、英語力レベルやニーズに合った継続学習の習慣化をサポートします。

**Bridge** プログラム の教材パッケージのねらい

実戦力にとって不可欠な基盤である「英語の感覚」を作りこむための自己学習用教材をパッケージにしました。

<📖基幹教材> と <🎯個別強化教材>の2つのタイプの教材を組み合わせることで、初中級レベルで作りにこんでおきたい力にしっかりとフォーカスし、効率的・効果的に土台づくりを進めることをねらっています。



「はじめての K/H システム」で学んだ視点と学習サイクルを実践して継続学習するための教材です。2つの<基幹教材>を使って、学習サイクルを回していくことで、実戦力に不可欠な基盤である「音の特徴」と「意味の特徴」を作りこんでいきます。

個別で強化したい力をトレーニングするための教材です。<基幹教材>を使って学習サイクルを回す中で、ニーズが出てきたところで活用。「結+詳+詳」の「意味の特徴」やその上につてくる「パターン構文」など、初中級レベルでしっかりと強化しておきたい力にフォーカスし、個別に効率よく強化できる形式になっています。